

『子どもの成長っぷりの秘密は、サードプレイスにあった!』

まるで孤島で子育てしているようでした。

近隣に親戚もおらず、近所で子どもたちが自由に遊んでいるような環境でもなかったからです。

ですから、一人っ子の娘には、できるだけ多様な人に囲まれる環境を作ってあげたいと考えていました。

私の理想は、サードプレイスで、家でも学校でもない場所を探していました。

結論から申しますと、ピアザ(※)が、私たち親子にとって理想的なサードプレイになりました。

毎週通うことで、メンバーさんたちと親子で色々なことを一緒に体験しています。娘にとっては、異年齢の子どもとの関わることで、たくさんの刺激をもらっているようです。

年上の子たちの話を聞いて影響を受けているところはもちろんですが、年下の子に対する接し方が自然になりました。(それまでは年下の子に興味を示さなかった)

ある日、図書室で見知らぬ小さい子に絵本を読んでいたことがありました。小さい子が特別好きなタイプでもないのに、なぜ?と思いました。遊んで欲しそうにしてたから、と自然にできることをやったようです。

友達の弟、妹にも自然と懐かれているようなので、優しく面倒をみれるようになったのかなあと感じています。

また、親以外の大人とフラットに話す機会が多いので、臆せず意見を言うようになったように感じます。

ピアザでは、基本的に肯定的な視点で見て受け取ってもらえるので、自分の考えを表に出しやすいのだと思います。

親としても、自分たち以外の目があることの環境がありがたいです。

娘の良さに気づかせてもらったり、行き詰まってしまった時に励まされたり。
娘の成長を支えてくれているのは、私たち親子のサードプレイスである
ピアザの存在が大きいな、と思っています。

サードプレイスの恩恵を一番受けているのは私自身かもしれません。

(※)ピアザ:週に一回会員が集まり多言語活動をする場